

令和5年度第1回山口県子育て文化審議会の概要について

1 日時 令和5年10月18日（水）10時00分から12時00分まで

2 場所 県庁共用第3会議室

3 出席者

委員21名(委員数25名)

県：こども・子育て応援局長、こども政策課長、こども家庭課長、関係課職員

4 議題等（主な意見の概要）

(1) 次期「やまぐち子ども・子育て応援プラン」等の策定に向けた取組について

- ・プランの策定は、子どもに関わる様々な人々、特に地域に密着している高齢者の存在も意識しなから進めていただきたい。

(2) 「子育て支援・少子化対策に関する県民意識調査」の実施について

- ・調査の重要性が認識されずに回答されないといったことがないよう、事前の広報・周知にも目を向けていただきたい。

(3) 「子どもの生活実態調査」の実施について

(4) こども施策の策定等に向けた子ども等の意見の反映について

- ・アンケートを実施する意味や結果の取扱い、子どもたち自身が権利主体であることを理解してもらった上で、子どもたちが安心して意見を言うことができる細やかな環境づくりを第一に考えてほしい。
- ・自分事として考えてアンケートに回答できるよう、年齢に応じて簡便な聴き方にするなどの工夫があってもよい。高校生以上には、アンケートの中で県の子育て施策を説明し、その利用について尋ねるなど、啓発の機会にもできる。
- ・計画をわかりやすく説明し、テーマを設定せずに回答する部分を設けるなど、どこか一つでも回答できるような形にできれば意見が言いやすくなるのではないか。
- ・「意見を聞く」というより「声を聴く」という表現の方が適切ではないか。
- ・大人の都合で回答を選択させるのではなく、言いやすい環境の中で出てきた意見を行政側で割り振り、政策を組み立てていくことが子どもの本当の声を聴く取組だと思う。

(5) 子育て支援・少子化対策の取組状況について